

2001年

# 沖電気高崎地区環境レポート



2001年7月27日

沖電気工業株式会社  
システムソリューションカンパニー  
システム機器事業部 環境管理チーム

## 目次

- 1 . ごあいさつ
- 2 . 高崎地区の事業概要
- 3 . 高崎地区のこれまでの取り組み
- 4 . 高崎地区の環境方針
- 5 . 高崎地区環境活動の推進体制
- 6 . 高崎地区の環境活動と成果
  - 6.1 省エネルギー活動
  - 6.2 省資源活動
  - 6.3 廃棄物削減活動
  - 6.4 汚染予防活動
  - 6.5 環境に配慮した商品開発
  - 6.6 環境教育
  - 6.7 社会貢献活動

## 1. ごあいさつ

沖電気工業株式会社  
システムソリューションカンパニー  
エグゼクティブバイスプレジデント  
松前 晃庸

沖電気高崎地区環境レポートを発行するにあたり、当地区を代表して一言ごあいさつ申し上げます。

当地区は1958年（昭和33年）群馬県誘致企業第1号として高崎工場での操業開始以来約半世紀にわたり、電子計算機およびその周辺機器から発券機、ATM等を開発、製造してまいりました。1994年（平成6年）に主たる生産を富岡工場と長野沖電気に集約し、現在はハードウェア製品の開発拠点として、新製品の開発設計と試作をしております。

1992年の地球サミットや1997年の京都会議に象徴されるように、20世紀の最後の10年間に地球環境問題という新たな課題が国際規模で問題提起され、解決に向けた活動がスタートしました。これを受けて21世紀は、国から個人に至るあらゆるレベルで地球環境にあたえる負荷を軽減する努力が求められています。

当地区は1997年（平成9年）にISO14001「環境マネジメントシステム」の認証を取得致しました。もちろん、排気・排水・騒音・省エネなど生産活動における環境管理活動には、認証取得以前から取り組んでおりましたが、さらに従業員全員が環境管理活動に取り組む体制を構築し活動を体系化致しました。活動の中では中長期的な環境改善目標を設定し、着実に達成しております。

また当地区はハードウェア製品の開発拠点であることから、製品を構成する部材の調達・製品の製造・運搬・稼働・廃棄、の各々の段階における環境への影響を最小限に留めるために、環境に配慮した製品の開発設計を進めています。そのために、製品の小型化・省電力化・材料の無害化（無鉛はんだ、他）等の技術開発を着実に実行しております。

この報告書によりまして、皆様方に当地区の環境問題への取り組み姿勢と成果の一端をご理解頂くとともに、今後の活動に向けてご意見を頂ければ幸いです。

## 2 . 高崎地区の事業概要

- ( 1 ) 所在地 群馬県高崎市双葉町 3 番 1 号
- ( 2 ) 工場設立 昭和 3 3 年 ( 1 9 5 8 年 )
- ( 3 ) 従業員数 約 2 , 0 0 0 名
- ( 4 ) 敷地面積 5 2 , 7 8 4 m<sup>2</sup>
- ( 5 ) 建築面積 3 1 , 7 4 7 m<sup>2</sup>
- ( 6 ) 用途地域 工業用地
- ( 7 ) 事業内容 情報通信関連機器 ( A T M、プリンタ等 ) の設計、開発  
および製造
- ( 8 ) 会社数 1 5 社
- ( 9 ) その他 第一種電気管理指定工場  
公害防止管理者 ( 大気四種 ) 設置工場  
高圧ガス第二種製造所  
騒音 第 4 種区域  
振動 第 2 種区域

## 3 . 高崎地区のこれまでの取り組み

高崎地区は沖電気全社の環境活動と連携し、世界動向に先駆けてフロン・エタン等の全廃に取り組んできました。I S O 1 4 0 0 1 は規格発効の翌年に認証を取得しました。

### < 高崎地区の活動 >

- 1 9 9 2 年 洗浄用特定フロン全廃
- 1 9 9 3 年 洗浄用トリクロロエタン全廃
- 1 9 9 5 年 めっき処理施設廃止
- 1 9 9 7 年 I S O 1 4 0 0 1 認証取得
- 1 9 9 8 年 洗浄用代替フロン全廃
- 2 0 0 0 年 ハロン消火器全廃

### < 世界の動向 >

- 1 9 8 9 年 モントリオール議定書発効 ( オゾン層保護 )
- ◆ フロン 2 0 0 0 年、エタン 2 0 0 5 年全廃 ( M P T ン会議 )
- ◆ フロン・エタン 1 9 9 6 年全廃前倒し ( 締約国会議 )
- 1 9 9 6 年 I S O 1 4 0 0 1 規格発効
- 1 9 9 7 年 京都議定書 ( 地球温暖化 )

## 4 . 高崎地区の環境方針

高崎地区では以下の様な環境方針を策定し、この方針を基に環境活動に取り組んでいます。

### [ 環境理念 ]

沖電気高崎地区は、沖電気本社の「環境基本方針」に基づき、情報社会の発展に寄与するコンピュータシステム、現金自動取引装置、自動発券機、プリンタなどの情報通信関連の商品を開発していく企業活動のあらゆる面において、地球環境および地域環境に関する保全活動を積極的に展開します。

### [ 行動指針 ]

- 1 ) 高崎地区環境委員会を設置し、地球環境の保全活動を推進する。
  - 2 ) 企業活動のあらゆる面において、環境に与える影響を的確に捉えて環境目的・目標を定め、環境マネジメントシステムおよび環境パフォーマンスの継続的向上を図るとともに、汚染の予防に努める。
  - 3 ) 環境関連の法律、規制および協定を遵守するとともに、自主的な管理基準や改善計画を設定し、環境負荷の削減に努める。
  - 4 ) 設計・開発段階において、商品の流通、使用、廃棄の各段階における環境影響を評価し、商品の省エネルギー設計およびリサイクル化などを推進し、環境に配慮した商品開発に努める。
  - 5 ) 施設・生産設備のエネルギーおよび資源効率を運用面、設備面より見直し、電力などの省エネルギー化に努める。
  - 6 ) 紙屑、廃棄プラスチック、生ゴミなどの廃棄物については、発生源での削減およびリサイクル化の徹底に努める。
  - 7 ) 業務の効率化、情報の電子化を推進し、ペーパーレス化などの省資源化に努める。
  - 8 ) 環境教育や社内広報活動を通じて、高崎地区の全構成員に環境方針の理解と環境情報の周知を徹底し、環境保全に関する意識の向上を図る。
- また、取引先に対しては、環境保全活動への理解と協力を求める。

システムソリューションカンパニー  
エグゼクティブバイスプレジデント  
執行役員 松前 晃庸

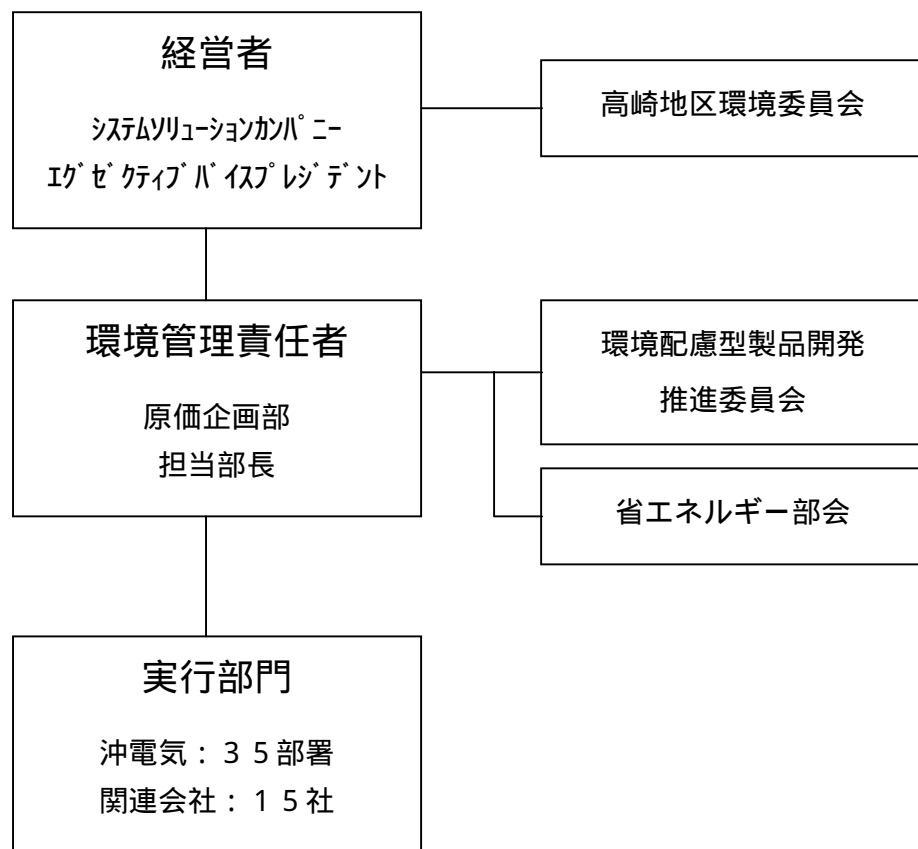
~ この環境方針は、外部からの要求に対して公表します ~

## 5 . 高崎地区環境活動の推進体制

高崎地区内では、沖電気工業(株)をはじめ15の関連会社がひとつの推進体制のもとで活動を進めています。

1997年10月 策定

2001年 5月 第5版



## 6 . 高崎地区の環境活動と成果

### 6.1 省エネルギー活動

高崎地区では、地球温暖化防止対策のひとつとして「省エネルギー部会」を中心に省電力活動を推進しています。

2000年度は前年度比較で、年間消費電力量を45万KWH削減しました。費用面でも58万円の削減効果がありました。

省電力の主な取り組みは次のとおりです。

- ・ 蛍光灯安定器のインバータ化
- ・ 空調用送風機のインバータ化
- ・ パソコン用ディスプレイの省エネルギー化（LCDへの代替）
- ・ トイレ照明の自動点灯制御
- ・ 昼休み・退社時の消灯徹底

#### 消費電力量の推移

年度	使用量（万KWH）
1997	1,208
1998	1,206
1999	1,263
2000	1,218

今後も、さらに省エネルギー活動に取り組みます。

## 6.2 省資源活動

高崎地区では省資源活動のひとつとして、居室でのコピー枚数削減と外部へのコピー依頼枚数の削減によるコピー用紙の使用枚数削減を進めてきました。

2000年度は1997年度と比較して、総コピー枚数を25%削減できました。

削減の主な取り組みは次のとおりです。

- ・ 両面コピーと縮小コピーの徹底
- ・ 文書の電子メール化促進
- ・ 推進責任者によるコピー枚数管理の徹底

### コピー枚数の推移

年度	年間（単位：千枚）
1997	8,943
1998	7,646
1999	7,917
2000	6,714

2001年度からは、最近増加してきたパソコンプリンタの印刷枚数の削減にも取り組んでいます。



### 6.3 廃棄物削減活動

高崎地区から発生する廃棄物は、紙屑、廃プラスチック、食堂生ごみが全体の約8割を占めています。廃棄物削減活動では、これらの廃棄物の削減と再資源化（リサイクル）に取り組んでいます。

主な取り組みは、次のとおりです。

#### 紙屑

- ・ プリンタ試作機のテストに使った紙を、再生紙の原料として供給しています。
- ・ 使用済みコピー紙をシュレッダーに掛け、トイレトーパーに再生利用しています。
- ・ 再利用率は1997年度に比べ10%増加し、45%になりました。

#### 廃プラスチック

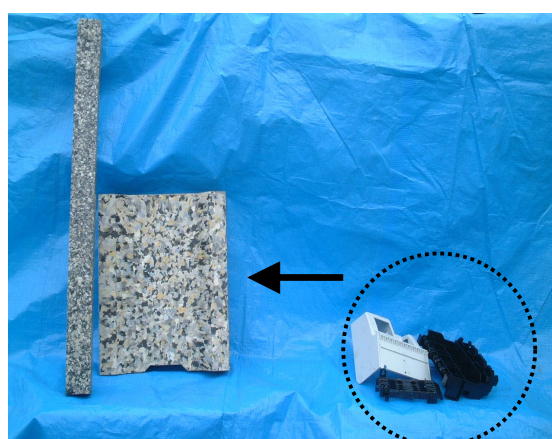
- ・ プラスチック屑を側溝蓋や角材等に再加工し、再利用しています。
- ・ 再利用できない廃プラスチックは、最終処分場（埋立地）の負荷を低減するために社外で焼却しています。
- ・ 最終処分量は1997年度に比べ60%減少し、1%以下となっています。

#### 食堂生ごみ

- ・ 調理方法の改善や盛り付けの工夫により、生ごみの発生を抑制しています。発生量は1997年度に比べ26%減少しています。



使用済みコピー紙の  
シュレッダー掛け作業



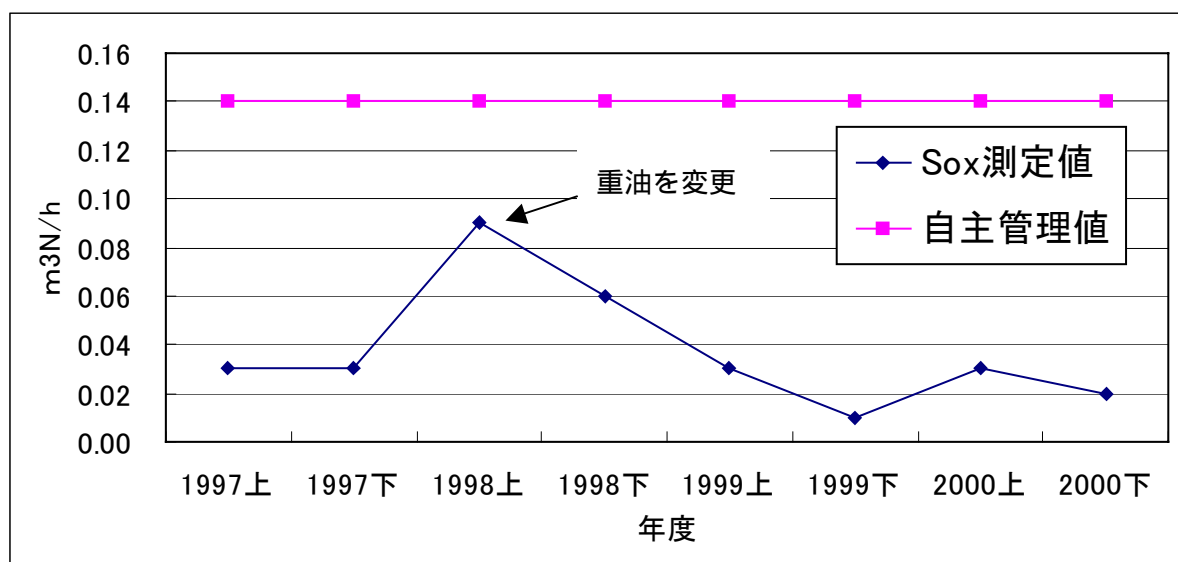
プラスチック屑の再加工品  
（側溝蓋、角材）

## 6.4 汚染予防活動

大気、水質、騒音、振動について、国の基準よりも厳しい社内自主規準値を定め管理をしています。

主な取り組みは、次のとおりです。

- ・ A重油使用ボイラーの燃料をより硫黄分の少ない重油に変更し、排ガス中の硫黄酸化物濃度を低減しました。
- ・ 騒音を発生する設備に防音塀を設置し、近隣への影響を軽減しています。
- ・ 薬品類が用水路に流出した場合に備え、手順書に基づいて定期的に緊急時の流出防止訓練を実施しています。



ボイラー排ガス中の硫黄酸化物濃度の推移



防音壁



流出防止訓練

## 6.5 環境に配慮した商品開発

製品は製造時と使用時には資源や電力を消費し、使用済み後は廃棄物となって環境に負荷を与えます。製品が環境に及ぼす負荷を少なくするため、主力製品のA T Mをはじめとして、設計段階において省資源・省エネルギー・リサイクル性など製品のライフサイクル全体にわたる環境負荷の低減を図っています。

これまで用紙サイズの小型化・再生紙使用・ペーパーレス化・梱包の簡素化による省資源設計、電源のロス低減・省エネモードによる消費電力の削減、分解の容易化等を進めてきました。現在はプリント基板に使用するはんだの無鉛化を推進しています。

これらの推進にあたり、高崎地区では製品開発設計段階で環境影響度評価（製品・包装梱包アセスメント）を実施しています。



A T M（現金自動預払機）

## 6.6 環境教育

環境に対する意識の向上を図るため各種の社内教育を実施しています。2000年度は全構成員を対象に環境教育（実施回数：24回）を実施しました。

### 主な環境教育の内容

- ・ 環境方針の周知徹底
- ・ 環境マネジメントシステムの重要性
- ・ 著しい環境影響の理解
- ・ 業務改善した場合の環境に関する利点



## 6.7 社会貢献活動

高崎地区では環境活動の豊富な経験を地域で活かしていただくために、近隣の企業の要請を受けてISO14001環境マネジメントシステムの認証取得活動を支援しています。2000年度は、県内2社の企業を支援致しました。



2001年2月には、群馬県高崎行政事務所主催の「地域企業エコ・スクール」に講師を派遣し、沖電気高崎地区の環境活動と認証取得経過を発表しました。

### < お問い合わせ先 >

沖電気工業株式会社 システム機器事業部 環境管理チーム

〒370-8585

群馬県高崎市双葉町3番1号

TEL : 027-325-1111 (代)

FAX : 027-324-2184

e-mail : satou979@oki.co.jp